

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市八幡西区築地10番

団体名 株式会社 サンキュロードエンジニアリング

代表者 前田 隆志

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	かぶしきかいしゃ さんきゅうろーどえんじにありんぐ	
団体名	株式会社 山九ロードエンジニアリング	
(ふりがな)	まえだ たかし	
代表者氏名	前田 隆志	
所在地	市内事業所	北九州市八幡西区 北九州市八幡西区築地10番
	主たる事業所	本社：北九州市八幡西区築地10番 北九州保全部：北九州市八幡西区市瀬2丁目4-1
事業概要	一般・特定工事,補修・補強工事、点検・調査、構造物設計等	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	51～100人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="https://sankyu-road.co.jp">https://sankyu-road.co.jp</a>	

## 連絡先

担当部署	技術部
担当者	森 史朗
電話番号	093-631-7339(携帯：090-1972-0106)
メールアドレス	<a href="mailto:sre_s.mori@sankyu.co.jp">sre_s.mori@sankyu.co.jp</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

企業名 株式会社 山九ロードエンジニアリング

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市基本計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					①本社・事業所の全ての照明のLED化推進及び使用していない部屋の電源をオフにする。 ②タコ配線及びコピー機等の待機電力の低減措置及び現場使用照明機器のLED化及び設備電源にソーラパネルを積極的に使用している。 ③社有車をEV/ハイブリッド車へ乗り換えを図っている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								9.4	10
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					①現場で発生した廃棄物は建設リサイクル法に則り産廃Boxに分別し、北九州優良認定産業廃棄物排出事業者への運搬処理を行っている。 ②リサイクル法に準拠し、工事で使用する材料・製品等に3R(リデュース、リユース、リサイクル)の物を積極的に採用している。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	⑬
								ターゲット	具体的な取組
								12.5	10
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					環境に優しい材料、部品、資材調達に積極的にリサイクル製品を使用している。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								12.2	10
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					①使用機器のDX化を推進する為に、最先端の機器を導入し3D(探査機・スキャナ)による情報収集 ②ストリーミング配信による現場と顧客の無人機によるリアルタイム映像の共有を図り環境負荷及び現場の効率化を図ることで工期短縮及び災害・事故等の安全対策を行っている。 ③安全・騒音・振動対策及び工期短縮の為に補修工事等に使用するコンクリートはつり機(ウオータージェット)の開発を行っている。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	⑬
								ターゲット	具体的な取組
								9.5	16
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					①補修現場調査に際し破壊調査を避け非破壊調査を推進することを目的に、DX化を図るため最先端の調査機器(2D,3D探査機、3Dスキャナ、反発速度比試験機等)にクラウドを用いたデータ送信技術によるイノベーションを推進し、環境に配慮した商品やサービスの提供を行っている。 ②DX化に伴う調査、検査、打合せ、現場立会等に衛星を活用した無人機(ドローン)によるリアルタイム映像配信(ストリーミング)をカスタマーに対し行う商品やサービスを行っている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	⑰
								ターゲット	具体的な取組
								9.4	16
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					①テレワーク等を積極的に導入する事で、交通機関を用いる等の移動時間を削減、効率的な労働時間確保を推進している。 ②クラウド等を利用する事でDX化に伴う調査、検査、打合せ、現場立会等へのデジタルデータ配信及び無人機(ドローン)によるリアルタイム映像配信(ストリーミング)を行う事で公共事業の労働時間の効率化と労働条件の確保を行っている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								8.8	29
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組み、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制は構築済み。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								10.2	28
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					山九グループ全体でハラスメントに関連する教育セミナーを年2回受講し、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	⑪
								ターゲット	具体的な取組
								8.8	28
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					①健康管理システムによる教育セミナーの実施。 ②年1回の定期的に健康診断を行い、異常と診断された場合は速やかに精密検査を受診する等の指導を行っている。 ③インフルエンザワクチン予防接種義務化及び補助金制度の利用を推進している。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	⑩
								ターゲット	具体的な取組
								3.4	30
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					①全ての従業員に対しスキルアップを図る為に独自開発した教育、研修システムを構築している。 ②最新技術の導入に伴う、現場研修及び技術研修を行っている。 ③新規工法の採用に伴う技術研修を積極的に受講しスキルアップを図っている。 ④資格取得に際し、取得手当及び報奨金制度を制定し、技術者として研鑽を重ねる様指導している。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	②
								ターゲット	具体的な取組
								4.4	5
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報等の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	⑪
								ターゲット	具体的な取組
								16.5	26
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					SDGsを推進する社内体制の構築及び実施を図っている。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	⑰
								ターゲット	具体的な取組
								12.6	9

※ CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 7年 1月 10日

団体名 株式会社 山九ロードエンジニアリング

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

福岡県(北九州市)を基盤とする建設会社として、「北九州市環境基本計画(基本理念3本つ柱)」に基づき脱炭素社会の実現、循環経済システムの構築、生物多様性と環境保全の推進に取り組むと共に得意とするICT,DX,GXを用いた迅速で快適な環境をつくり、産学官による研究・教育の推進並びに災害に強いまちづくりの推進等を行い、北九州市に住み続けたい環境づくりを目標とします。

## ◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野 に「○」	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	指標 ( K P I ) ・目標値		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係	
		※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある重 点戦略との関係	最も関連性のある 「北九州市基本計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載でも可
経済	ICT,DX,GX,ARを用いた迅速で快適な環境の構築	指標 (KPI)	災害・調査・検査等の緊急対応件数	稼げるまち	指標
社会		目標値		彩りあるまち	⑬ 安全なまちと認識している市民の割合
環境		(その他の場合) (2027)年	弊社目標 年3回以上	安らぐまち	16 デジタルによる「迅速で便利・快適な環境」づくり
経済	最新技術を用いた提案と人材育成及び産学官との共同研究開発によるパートナーシップの構築・情報の共有	指標 (KPI)	デジタル技術を用いた人材教育と技術研究開発件数	稼げるまち	指標
社会		目標値		彩りあるまち	② 従業員一人あたりの付加価値額
環境		(その他の場合) (2027)年	弊社目標 年3件以上	安らぐまち	21 グローバル人材や理工系人材の育成に向けた教育の推進
経済	工事現場での脱炭素社会の構築(照明、建設機器のLED化及び社有車EV化・建設機械の低燃費仕様車の採用並びにエコドライブの推進、DX化による工期短縮及びDX調査機器の採用、低騒音型・低振動型建設機械の採用等)	指標 (KPI)	工事現場での脱炭素社会に向けたデジタル化率	稼げるまち	指標
社会		目標値		彩りあるまち	⑪ 社会課題を意識し、日常生活の中で解決に向けた行動に取り組む市民の割合
環境		(その他の場合) (2027)年	実績率 50%以上	安らぐまち	25 災害などに強いまちづくりの推進

## 記載について

- ・「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

